

平成 20 年 5 月 26 日

各 位

不動産投信発行者名

東京都港区六本木六丁目 10 番 1 号
六本木ヒルズ森タワー

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人

代表者名 執行役員

鈴木 博之

(コード番号：8981)

資産運用会社名

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社

代表者名 代表取締役

鈴木 博之

問合せ先 管理本部長

板橋 昇

TEL. 03-6439-0333

2008 年 4 月度の月次開示に関するお知らせ

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）の 2008 年 4 月度の月次総売上げ並びに宿泊部門の客室稼働率、ADR 及び RevPAR を下記のとおりお知らせいたします。本投資法人は変動賃料の支払いを伴うホテルであって、ホテル賃借人から開示について同意をうけることができたホテルについて継続的に月次開示をいたします。

記

ホテル名/項目	客室稼働率 (%)	ADR(円)	RevPAR(円)	売上高(百万円)
神戸メリケンパークオリエンタルホテル	79.9%	14,548	11,624	550
オリエンタルホテル 東京ベイ	64.1%	19,625	12,579	492
なんばオリエンタルホテル	83.7%	10,423	8,724	155
ホテル日航アリビラ	83.7%	22,588	18,906	450
オリエンタルホテル広島	57.1%	8,720	4,979	160

上記開示に関するジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社（資産運用会社）からのコメント：

神戸メリケンパークオリエンタルホテルについて

宿泊部門については、前年に比べて日並びの影響により GW の高需要日が減少。閑散期を中心に比較的単価の安い IT 商品を積極的に販売することで稼働率は前年同月を上回ったものの、ADR は前年同月を下回り、同部門の RevPAR 及び売上は前年同月を下回る結果となりました。レストラン部門においては昼食帯・夕食帯が振るわず前年同月を下回りました。婚礼部門においては件数増加・件単価向上により前年同月を上回る売上となりましたが、ホテルの総売上は前年同月を約 29 百万円下回る水準となりました。

オリエンタルホテル 東京ベイ（旧：新浦安オリエンタルホテル）について

宿泊部門については、競合ホテルが価格引下げ攻勢を強め、客室稼働率は前年を上回ったものの、ADR は下落し、結果的に売上は前年同月を下回りました。レストラン部門は、昼食、夕食に加え、宿泊者数の増加に伴い朝食売上も対前年比で上昇したことから部門売り上げは前年を上回りました。宴会部門は

一般・婚礼宴会共好調裏に推移し、前年同月の売上を上回りました。結果として、ホテルの総売上は前年同月を約 16 百万円上回りました。

なんばオリエンタルホテルについて

宿泊部門では、前年に開催された医学会総会を中心とした大型イベントがなくなったこと、及びGW前半である4月末の日並びが悪かったことにより、ADR、稼働率共低下し、ホテル全体の売上は前年同月比より約 11 百万円下回りました。

ホテル日航アリビラについて

宿泊部門について、ADRは下げたものの、稼働率は好調裏に推移し、売上は前年同月を上回りました。料飲部門は、婚礼宴会が好調に推移したことにより、前年の売上を上回りました。結果として、ホテルの総売上は、前年同月を約28百万円上回る結果となりました。

オリエンタルホテル広島について

宿泊部門について、客室改装に伴う販売売止が 912 室発生したものの、エージェン特及び法人契約数の増加により客室稼働率・ADRともに前年同月を上回ったため、同部門の RevPAR 及び売上は前年同月を上回る結果となりました。レストラン部門においては、前年同月を下回る売上になったものの、宴会部門においては、一般宴会が件数・客数の増加、婚礼宴会が件数・件単価の増加により前年同月を上回る売上となりました。結果として、ホテルの総売上は約 160 百万円となりました。

-
- 注 1) 上記のコメントは運用会社が賃借人から提供を受けた情報に基づいて作成しており、あくまでおおむねの傾向についての参考情報として記載するものにすぎません。コメント中に記載された数値・情報については、監査等の手続を経ているものではなく、運用会社による独自の検証を行ないうる性質のものでもなく、個々の数字・内容の正確性・完全性について保証できるものではありませんのでご注意ください。
- 注 2) 各月の数字については監査等の手続を経していないため、各月を合計した金額は、後に提出する半期報告書、有価証券報告書に記載される 6 ヶ月間及び年間の売上合計と合わない場合があります。また、各月の売上についても、半期報告書、有価証券報告書に記載される各月の売上と相違する場合があります。
- 注 3) ADR : 平均客室販売単価 (Average Daily Rate) をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計 (サービス料を除きます。) を同期間の販売客室数合計で除した値をいいます。
- 注 4) RevPAR : 販売可能客室数当たり宿泊部門売上 (Revenue Per Available Room) をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計を同期間の販売可能客室数合計で除したものをいい、ADR と客室稼働率の積にて計算される数値と同値となります。
- 注 5) 客室稼働率については小数点第 2 位を、ADR、RevPAR については小数点第 1 位を四捨五入して記載しています。売上高については、百万円未満を四捨五入して記載しています。

以上

* 本投資法人のホームページアドレス : <http://www.jhrth.com/>